

稲の不耕起栽培を紹介

下呂市で 農業者ら先進例に関心
講演会

稲の不耕起栽培について
の講演会が、下呂市
森のホテルパストール

で開かれ、千葉県内の
先進的な農家の話を
地元の農業者ら約40人



不耕起栽培についての講演を聞く農業者。下呂市森、ホテルパストール

が聞き入った。

同市萩原町宮田の米穀生産販売業「龍の瞳」が主催した。不耕起栽培は、田を耕さずに稲を育てる方法。ミニミスを活用し地力を高めることで肥料や農薬が少なく済むほか、収量も増えるなどとされている。

講演したのは不耕起

栽培を実践している、日本不耕起栽培普及会長の岩澤信夫さん。千葉県。岩澤さんは「稲刈り後にぬかをまくことでミニミスを繁殖させられる」などさまざまな栽培法を紹介。聴講者も熱心に聞き入っていた。(田島豪人)